

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水・2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(観光と地域づくり入門) Society and History (Introduction to Tourism and Community Revitalization)		
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 深見 聡/Eメールアドレス:fukami@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 環境科学部本館 3 階 353 室 /TEL:095-819-2720 /オフィスアワー: 火曜 14:00-18:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 日本は人口減少社会を迎え、各地で地域の特性を活かした「地域づくり」への関心が高まってきている。とくに、交流人口を生み出す「観光」に期待が向けられている。これから私たちが快適に生活していくには、地域特性を把握する視点や手法、地域にみられる事例を知り、比較検討することが不可欠であることを知る。</p> <p>授業方法: テキストや新聞記事等の配布資料を中心として、視聴覚機器(パワーポイントやビデオ)を用いながら進めていく。</p> <p>授業到達目標: 「観光」「地域づくり」の定義と実際、その種類と内容の理解を基礎として、九州各地をケーススタディに、観光と地域コミュニティのかかわり、人間環境(人文環境)や自然環境への影響、住民と行政が協働した地域づくりのあり方などについて、それぞれの理解を深める。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>はじめに、「観光」と「地域づくり」の関わりを概観する。その上で、九州や東アジアの具体的地域や話題をとりあげ、地域比較の視点から現代社会の課題に向き合う能力を養う。</p> <p>第1回 4/15 オリエンテーション―「観光」と「地域づくり」とは</p> <p>第2回 4/22 観光の種類と地域コミュニティ</p> <p>第3回 5/13 観光による地域づくりの手法</p> <p>第4回 5/20 「まち歩き」観光 -「長崎さるく」から「九州さるく」へ-</p> <p>第5回 5/27 エコ・ツーリズムとグリーン・ツーリズム</p> <p>第6回 6/3 世界遺産を考える① -国内第1号の「屋久島」-</p> <p>第7回 6/10 " ② -暫定リスト入りした「九州・山口の近代化産業遺産群」-</p> <p>第8回 6/17 ホスピタリティ・ツーリズム -小島嶼・薩摩硫黄島の地域資源-</p> <p>第9回 6/24 フィルム・ツーリズム -大河ドラマ『篤姫』と『龍馬伝』-</p> <p>第10回 7/1 エコミュージアムとジオパーク -温泉・景勝地-</p> <p>第11回 7/8 「エコマップ」と観光教育</p> <p>第12回 7/15 災害復興と観光 -雲仙普賢岳と桜島-</p> <p>第13回 7/22 東アジアの事例 -韓国の観光と地域づくり-</p> <p>第14回 7/29 コミュニティ・ビジネス</p> <p>第15回 8/5 まとめ</p>			
キーワード	地域活性化、地域資源、NPO、地域コミュニティ、持続可能性		
教科書・教材・参考書	<p>教科書: 深見聡『地域コミュニティ再生とエコミュージアム-協働社会のまちづくり論-』(青山社、2007年)</p> <p>教材: 適宜プリント等を配布する。</p> <p>参考書: 宮口侗迪『新・地域を活かす- 地理学者の地域づくり論- 』(原書房、2007年)</p> <p>宮崎猛(編著)『これからのグリーン・ツーリズム』(家の光協会、2002年)</p>		
成績評価の方法・基準等	<p>期末試験(または期末レポート) 80%、小課題の提出(1回)20%を基準として総合的に評価する。</p> <p>*自主的に講義感想等の小レポートを提出した場合、加点の対象とすることがある。</p> <p>*期末試験を実施する場合、教科書・ノートの持ち込み可。</p>		
受講要件(履修条件)	なし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	<p>講義用ブログを開設しているので気軽に書き込みしてください。</p> <p>http://blog.livedoor.jp/satoshifu/</p>		